

平成19年度

農山漁村男女共同参画活動いきいきフォトコンクール
受賞作品の概要

農林水産大臣賞
農林水産省男女共同参画推進本部長賞
経営局長賞
林野庁長官賞
水産庁長官賞

平成20年1月

農林水産省男女共同参画推進本部

農林水産大臣賞

1. 画題（テーマ）：

「おさかな大好き！男女みんなでつくる水産食育」

2. 応募市町村及び応募者名：

応募市町村：とのしょうちょう土庄町（香川県）

撮影者：いちだ一田 はつみ初美

3. 画題（テーマ）の説明及び市町村の取組状況

（1）画題（テーマ）の説明

しかい四海漁協女性部では長年にわたり魚食普及活動に取り組んできた。地域の学校給食や流通関係者、また、近隣漁協所属の男性漁業者と連携し、学校給食での地元水産物の利用拡大や県内水産業の理解に向け活動の幅と地域交流の輪を拡げている。他団体と共同して男女共同参画を実践している姿、活動の拡がりを実感できるシーンとして、地元産魚のすばらしさをPRするランチタイム訪問、船上での水産食育教室として底引き網の紹介、漁獲物の選別体験を表現した。

（2）とのしょうちょう土庄町の男女共同参画取組状況

平成16年3月に「とのしょう男女共同参画プラン」を策定、農山漁村地域のパートナーシップづくりなどの推進に努めている。

水産分野では、方針決定過程への女性参画の推進に向け、女性指導漁業士等漁村地域の女性リーダーの育成や掘り起こしに取り組んでいる。現在、女性の指導漁業士認定数は県内漁協では最大の6名となっている。

この他、香川県漁業協同組合連合会や（社）香川県水産振興会が実施する研修会、学校給食や地産地消を通じた食育推進活動に対して支援を行い、女性起業活動など漁村女性が活躍できる場の創出、女性を含め指導漁業士全体の連携・交流活動支援を計画的に実施している。

4. 審査会での講評

- ・船上での水産食育教室を取り上げたのは新しい形で評価できる。
- ・船上の写真は撮影が難しいがよく撮れている。

農林水産大臣賞



農林水産省男女共同参画推進本部長賞

1. 画題（テーマ）：

農の発想で広がる「^{しなの}科野農業塾」の地域ボランティア活動

2. 応募市町村及び応募者名：

応募市町村：^{ちくまし}千曲市（長野県）

撮影者：^{ほりぐち}堀口 ^{おさむ}修

3. 画題（テーマ）の説明及び市町村の取組状況

（1）画題（テーマ）の説明

^{しなの}科野農業塾は平成15年に結成された男女26名による地域ボランティアグループ。「地域を愛し農業のすばらしさを伝えたい、男も女もみんなで知恵と力を出し合う、遊び心を持って楽しく活動する、思いついたら即実行」をモットーにたまねぎ祭り、小学生のたまねぎ体験学習、うどんの手作り工房「夢麺（ゆーめん）」の設立等男も女も協力して地域おこし活動を実践している。

棚田の小さな水田には田植機が使えない。足下の赤い玉のついた線を目印に、一通り植え終わって立ち上がり声を掛け合い後退する際の様子。土手の高い棚田の草刈りは大変だが男性も加わり大助かりな様子を表現した。

（2）千曲市の男女共同参画取組状況

千曲市は、平成15年に更埴市、戸倉町、上山田町が合併して新たに誕生した。

それぞれ農村女性プランを策定し、プランの実現に向け女性グループ等の活動を支援してきており、加工施設の運営や起業、女性農業委員の推薦などが前進している。

科野農業塾は旧戸倉町と農業改良普及所が開催した農業塾がきっかけとなった地域おこしグループで、男女共同参画、地域及び農業の振興に取り組んでおり、定例会、各種行事には市職員も参画するなど支援を継続している。

4. 審査会での講評

- ・男性と女性が一緒に活動し、地域おこしに貢献しているのが良い。

農林水産省男女共同参画推進本部長賞



経営局長賞

1. 画題（テーマ）：

ワシにもうまく出来るかな？（男性の家庭料理教室）

2. 応募市町村及び応募者名：

応募市町村：津幡町（石川県）

撮影者：豊田 ^{とよだ} 久恵 ^{ひさえ}

3. 画題（テーマ）の説明及び市町村の取組状況

（1）画題（テーマ）の説明

河北地区生活研究グループは料理教室を開催し、消費者と生産者の相互理解を図ることにより、女性農業者の立場から「地産地消」を呼びかけている。

高齢化が進む中、夫婦がお互いに協力し合うことは勿論、男性も自立できるようにしなければとの思いから、受講対象者を地域在住の男性に限定し、料理に興味があるけれども料理教室には抵抗があるという男性が参加しやすいように配慮した家庭料理教室を開催した。よく食られている家庭料理や地域に伝わる料理の作り方の極意について、普段作りなれているお母さん達が生徒である男性に教えている様子である。

熱心にレシピを理解しようとしている男性の姿、講師の女性の包丁さばきに触発され挑戦する様子を表現した。

（2）津幡町の男女共同参画取組状況

津幡町では、平成13年9月に「津幡町男女共同参画推進計画策定委員会」が設置され、同10月には町内在住の男女1,000人を対象に「男女共同参画社会を考える町民アンケート」を実施、その結果を基礎資料として「津幡町男女共同参画推進プラン」を策定している。

津幡町には、生活研究グループが4グループあり、女性の側から郷土料理の伝承や漬物づくり等の活動を通して地域作りの方法の研究に取り組んでいる。町は、これらの取組や女性認定農業者の認定申請、男女共同参画のための行事や女性グループの活動に支援を行っている。

4. 審査会での講評

- ・教える側の女性と教わる側の男性の表情がそれぞれ良い。
- ・家族ではなく地域での取り組みなのが良い。

経営局長賞



林野庁長官賞

1. 画題（テーマ）：

夫婦ではぜの実の収穫

2. 応募市町村及び応募者名：

応募市町村：嬉野市（佐賀県）

撮影者：中村 ^{なかむら} ^{りょうた} 亮太

3. 画題（テーマ）の説明及び市町村の取組状況

（1）画題（テーマ）の説明

地域の女性林業活動として平成9年に「はぜ紅葉会」が発足し、遊休耕作地を利用した地域の特産づくりとして「はぜ蠟」の生産を始めた。地域の女性グループ中心で始めた活動が家族の理解を得て、地域ぐるみの活動へと発展している。はぜの生産管理は、選定作業や実の収穫作業など男女が共同で行う作業が多く、写真は、夫婦が協力してはぜの実を収穫している風景で夫は高い枝の実を収穫し、妻は低い枝の実の収穫作業をしている。

（2）嬉野市の男女共同参画取組状況

嬉野市は、平成18年に塩田町と嬉野町が合併して誕生。

市としての男女共同参画社会の実現に向けた取組はこれからで、18年7月に「男女共同参画審議会」を設置、19年3月に審議会から「嬉野市男女共同参画社会に向けた提言書」が答申され、「嬉野市男女共同参画行動計画」を策定中である。

農林業においては男女の固定的役割分担意識が強く残っており、このような中で、「はぜ紅葉会」は地域の女性達の自主的な活動が地域を活性化させた事例である。女性グループの地域貢献の思いと努力により、女性グループから家族へ、家族から地域へとその活動は着実に発展しており、市としても、男女共同参画の実践活動として支援している。

4. 審査会での講評

- ・夫婦の共同作業を通じた男女共同参画がよく表現されている。
- ・遠景、収穫している表情それぞれが良い。

林野庁長官賞



水産庁長官賞

1. 画題（テーマ）：

今日も笑顔で！

2. 応募市町村及び応募者名：

応募市町村：明石市（兵庫県）

撮影者：はやしだ 林田 あきよし 明熟

3. 画題（テーマ）の説明及び市町村の取組状況

（1）画題（テーマ）の説明

男でも辛い重労働な漁師の仕事を笑顔いっぱいできてきぱきこなしていく女性達。しかし、暗さなど微塵もなく、皆明るく笑顔と笑い声がそこいら中に溢れ活気に満ちている様子を表現した。

（2）明石市の男女共同参画取組状況

明石市は、平成 13 年 3 月に「あかし男女共同プラン」を策定し、14 年 4 月に男女共同参画施策の拠点施設として、各種講座や相談等を実施する「あかし男女共同参画センター」を開設するなど、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを進めている。

また、学識者による諮問機関として「あかし男女共同参画プラン推進懇話会」、庁内の連絡会議として「あかし男女共同参画プラン推進連絡会議」を設置し、推進体制の整備を行っている。

具体的には、身近な暮らしや社会制度・慣行から男女共同参画を考える「明石女性生活大学」を昭和 48 年から実施し、人材育成に努め、「あかし女性フェア」や「あかし男女共同参画フォーラム」の開催、広報物作成により男女共同参画の市民意識の醸成に努める等先導的・特徴的な取り組みを進めている。

4. 審査会での講評

- ・背景のセリの風景との対比、男性のセリの中に女性という組み合わせも良い。

水産庁長官賞

